

経団連の「未来都市モデルプロジェクト」 (株)サンライズファーム西条訪問 in 愛媛県西条市

2014.1.28(火)

日本のトップ企業の結集体である日本経団連では、地球環境問題や資源・エネルギー制約等、社会の課題を世界に先駆けて解決するための「未来都市モデルプロジェクト」を提案。それを実証すべく、全国の11都市・地域を指定しています。

このうちの1つが西条市の先進農業。山下ようこにとって、以前からどうしても訪れたかった農場。今回は念願かなって、経団連の米倉会長の輩出企業である住友化学株式会社の担当部長に直接、ご案内いただきました。



JR予讃線 伊予西条駅下車。ここから車で農場へ。



目的地、サンライズファーム西条到着。



農場は一面のマルチ。



マルチの中は...



みずみずしいレタス。土を覆っている黒いシートは、使用後に燃やす必要なし!!分解されて土に還るすぐれもの。環境に優しい農業資材です。



西条は石鎚山の伏流水を飲料とする等、水が美しく、豊富なところ。だからこそ実践できる先進農業。この装置で水をくみ上げ、飲料水と同じ水質の水を農業用に使い、レタスを育てています。つまり、美しくおいしい飲み水で育てたレタスです。



今回、ご案内いただいた住友化学株式会社 CSR推進室 担当部長 玉置(たまき)昌宏さん。東京から出張いただき、詳しく説明。本当にありがとうございました。



別の場所の建物内では、レタス収穫の後、農場で栽培する予定のキャベツの苗が育てられていました。



訪問の最後に(株)サンライズファーム西条の事務所へ。法人としてのオフィスが整備されているのも、先進農業実践のこの地の特長。右は栽培管理責任者の牛丸博聴さん、左は事務所スタッフ田坂優子さん。農場の様子は監視カメラによって映像化され、遠隔地のパソコンからも見ることができます。

農業生産の大規模化・高度化、農産物の販路の開拓や輸出促進を目指す経団連の先進農業プロジェクト。ここ西条では、地域との協力体制がすぐれていて、このノウハウを地域に還元することを目指している点も、特に注目に値すると言えます。